

緑の雇用事業の推進

～森林環境保全で新たな雇用創出～

和歌山県中辺路町森林組合(中辺路町)

総務大臣賞

和歌山県中辺路町森林組合



伐採跡地に、現地に合った広葉樹等を植栽し、環境林として整備を進めています。



森林作業現場への出勤風景。



労働災害防止のため、現場への出勤前に森林組合に集合し、安全の確認を行っています。

事例の概要

「緑の雇用事業」に積極的に取り組み、都会から多くのIターン者を受け入れ、林業技術者の養成と新たな雇用の創出による都市との交流を図っている。

世界遺産に登録された「熊野古道」等の地域特性を生かした新たな森林整備を推進し林業振興に取り組んでいる。

遊休農地等を利用した農作業により、地元住民とIターン者とのふれあいの場となり、より一層の交流が増進されている。

評価のポイント

中辺路町森林組合のある中辺路町は和歌山県のほぼ中央に位置し、町面積は211平方キロメートルあまりと県下4番目の広さであり、そのうちの93%近くを山林が占めている。

当森林組合は、将来の森林整備の担い手の確保と育成を課題としてIターン者等の受け入れを進めてきたが、平成13年度に和歌山県知事が森林の持つ公益的機能に着目し、その環境保全事業を展開することにより新たな雇用を創出し、都市と地方の交流による地域の活性化を図ることを目的とした「緑の雇用事業」が提起されたのをきっかけとして、都会からのIターン者を積極的に受け入れるようになった。

また、林業労働者の高齢化が進んでいることから、本格的な森林整備の担い手として育成することで、近い将来、世代交代をスムーズに進めるため、高性能作

業機械の導入による近代的な作業システムに対応し得る多様な林業技術者の育成を図っている。また、作業道を重点的に整備することによって、安全性と作業効率が高まった。こうした取組みの結果、Iターン者の中に、地域の自然や風土が気に入り、土地を購入し地元産材を使った自宅を建設したり、当森林組合の職員が率先してIターン者の方々を、秋祭りなど様々な地元の催しに参加する機会をつくり地域住民との交流を図っている。

このように、地元住民とIターン者が連携した地域づくり・人づくりを基本理念にIターン者の受け入れを行った結果、過疎化・高齢化が進む地域において活気を取り戻しつつあり、これからの過疎地域の自立の方向性を感じさせると評価された。



森林作業の傍ら、雨の日には特技を生かした木工製作に取り組み、地元定住を目指しています。



都会からのIターン者の家族も増え、地元の保育園も活気を取り戻しつつあります。

和歌山県・中辺路町



国勢調査人口

昭和35年	昭和45年	平成2年	平成7年	平成12年
7,941	5,439	4,027	3,863	3,710

増減率

H12/S35	H12/S45	H7/H2	H12/H7
△53.3	△31.8	△4.1	△4.0

高齢者・若年者比率(H12)

高齢者比率	35.1
若年者比率	12.0

交通のご案内

- 自動車** 近畿自動車道南部ICから国道42号、国道311号経由60分
- 電車** JR紀勢本線紀伊田辺駅からバス50分
- 飛行機** 南紀白浜空港から自動車45分

団体連絡先

- 名称** 中辺路町森林組合
- 所在地** 〒646-1416 和歌山県西牟婁郡中辺路町高原1434-1
- 電話番号** 0739-64-0018(専務理事 岡上 哲三)